

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公表番号】特表2013-505728(P2013-505728A)

【公表日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2012-531105(P2012-531105)

【国際特許分類】

C 12 N 5/071 (2010.01)

【F I】

C 12 N 5/00 202 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月5日(2013.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細胞を磁性化するための組成物であつて、

- a ) 負に帯電したナノ粒子；
- b ) 正に帯電したナノ粒子；及び
- c ) 支持分子、

を含み、ここで前記負に帯電したナノ粒子又は正に帯電したナノ粒子のうちの1つが磁気応答性エレメントを含み、かつ、緊密な混合状態で前記支持分子が前記負に帯電したナノ粒子及び前記正に帯電したナノ粒子を保持する組成物。

【請求項2】

前記負に帯電したナノ粒子が金のナノ粒子であり、前記正に帯電したナノ粒子が酸化鉄のナノ粒子である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記支持分子がペプチド、ポリサッカリド、核酸、ポリマー又はその組み合わせを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記支持分子がポリ-リシンを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

- a ) 前記支持分子がポリ-リシンを含み、
- b ) 前記負に帯電したナノ粒子が金のナノ粒子であり、及び
- c ) 前記正に帯電したナノ粒子が酸化鉄のナノ粒子である、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

請求項1又は5に記載の組成物と細胞を接触させること、及び該細胞が磁性化するまで1~12時間インキュベートすること、及び磁性化した前記細胞を、前記細胞を移動させるのに十分な磁場にかけることを含む、細胞を移動させる方法。

【請求項7】

前記磁場が非対称である、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記細胞が懸濁されている又は接着している、請求項6に記載の方法。

【請求項9】

請求項 1 又は 5 に記載の組成物とインキュベートすることにより作成される磁性化細胞を含む組成物。

【請求項 10】

前記細胞が凍結している、請求項 9 に記載の組成物。